

夕刊東北新報

本紙一月十部... 石城郡... 平町...

豫算編成難の 石城各町村

縣當局の緊縮の美名に 隠れた怠慢振りを非難

明年度豫算もいよいよ今月たもの十分の一にも足らぬ減額された補助のため悪協議すること、なつたので石城郡の各町村で水防の改修工事が着工さ

石城郡の名物 四倉火うら合

海岸で盛大に舉行 来る十、十一兩日同町

石城郡の名物四倉火打合は、いわし、さんま等が、日例により同町海岸川を盛大に行はるべく壯觀を呈すものと見られてゐる

地盤協定など 舌戦に火花を散らす

混戦に陥つた第三區

第三區相双政友派から松本派木村、佐藤、民政派佐比、氏の後釜として推された支、氏家の四氏と確定、これら

重大な結果を もたらす不在投票

前回の不成績に鑑み 棄権防止宣傳に大童

石城郡四倉、小名濱、江名次(一八)假名は東京市淺草、豊開等の町村が前回の総選、區光月町一丁目鈴木勇方に

添田記者 縣南に出張

小島候補應援の爲

本記者添田照之氏は縣南、第二區から立候補した政友、會公認候補者小島智善氏應、援のため横山社長代理とし

立話の末に 大浦農會の 表彰披露式

表彰披露式

石城郡大浦村農會主催の帝、國農會表彰披露式並に農、事講演會は来る九日午前十時

名士を迎へて 第三區の言論戦

比佐派は農相を迎へ 木村派は鵜澤博士を招ぎ

言論と文書以外の方法によ、高田次官と決定を見更らに、る事の出来の選挙だけに宣

自殺のマネ

とんだ人騒ぎの男、警城郡神谷村居住鈴木徳三、郎(二六)は去る三十日夫婦

平看護婦會

平町南町

阿康薬店

平町南町

少年の悪事

故郷戀しさに、石城郡内郷村大字宮遠操義、では總師に町田農相次が培

平第二校の 大がかりな難祭り

大がかりな難祭り、平第二小校では国民性を啓、と平署に届出たので係官が

人事

- 出生平町仲町九 藤本順次女昭子
- 平町仲町六五 中村忠次郎四男和利
- 平町長橋町四二 寒風澤國治長女禮子
- 平町五丁目一〇 丹野三郎三女美代

間週画名別特回二第月正儔り替真寫日六月二

愛地深獄

紀元節 (十一日) 二回晝夜

日活大作 連續時代劇 第一編

日活傑作中の一 原作 佛生寺彌作

監督 服部 秀

壁虎藤十郎 清川莊司・永井寛二郎 川上彌生・中山介二郎

片岡千恵藏 市川小文治 常盤操子 川上彌生 鳥羽陽之助 瀨川路三郎

(館平)

松竹藩田映画

原作……大黒東洋士

渡邊 篤

龍田静江・小藤田正一 愛して頂たい

獨唱 千鳥君子嬢



立憲政友會公認候補者

木村清治君

責任者 石城政友部會

平町三丁目三

山田忠太郎

見ヨ緊縮時代ノ

家庭ノ福音!!!

大倉煉炭大好評

平町專賣ノ田印大倉煉炭使用材料ハ世界一ノ稱アル朝鮮産工無煙炭ニ專賣特許ノ大倉貯溜炭ヲ配合シタルモノナリ他ノ煉炭ト炊キクラベ御使用下サイ火力強ク火持チノ長イコト在來品ノ比デアリマセン 尙又化學ノ力デドク瓦斯ヲ除イテアリマスカラ器物ヲ損ズル恐レガアリマセン然モ大倉乾溜炭ハ私ノ店ノ特約デスカラ地方ノ工場デ此ノ種ノ品ヲ造ルコトハ絶對ニ出來マセン何卒多少ニ不拘御用命下サイ

平町材木町ノ角

大倉 煉炭 平專賣製造部 高田木炭商店

急告

女給さん三名入用

十七歳より廿三歳まで素人にて 差支へありません

西洋料理 ボタン 平町四丁目 電話八五四番

特賣!

たひら正宗 福島縣清酒品評會 一等賞受領

花春 同優等賞受領

鹽屋最上醬油醸造元

山崎合名會社

平町土橋 電話一〇番二七番

東京上野車坂四三

東京支店

電話下谷五七二番

獨乙フンケル會社

製特用蓄音器、針着荷

第一、一本の針で五回も使用出來ます

第二、一本の針で高音低音自由

第三、舶來品として價格の安いこと

「ピアノ印」一箱(二百本入)五十錢

是非一度このピアノ印針を御試用願ひます

尙蓄音器の修繕は、安く良く早く

◎電話十九番へお掛け下されば早速お伺ひ致します

平三 大谷時計病院

電話十九番

時は今だ!!

迅速と低廉をモットーとする

選舉印刷物の注文は……

如何なる急場にも、如何なる大量でも

直ちにお引受けする準備を整へてあるのは

それ……丸山印刷所

外科一般 (入院隨意)

内臓外科専門

花柳病科

平町六丁目(橋際)

木村科外醫院

電話三〇九番

洋食 美味で……お手輕

喫茶 紅茶、コーヒー、コ、ア

宴會 洋式でも日本式でも……

出前 迅速に致します

平驛前通り

こんはる

電話六六六番